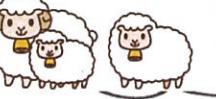


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 8

2021年10月29日発行



(詩編 133:1)

10月の聖句

『見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び』

人間は人ととの関係性(交わり)によって成長し続けます。わたしたちは、家庭において、幼稚園において、地域社会において…世界において。すなわち、共に生きることによって成長し続けます。子どもたちも、大人たちも。「共に座る」ことの意味を、聖書は食事・祈り(礼拝)と結びつけています。そして、神さまの祝福のうちにありますとして。

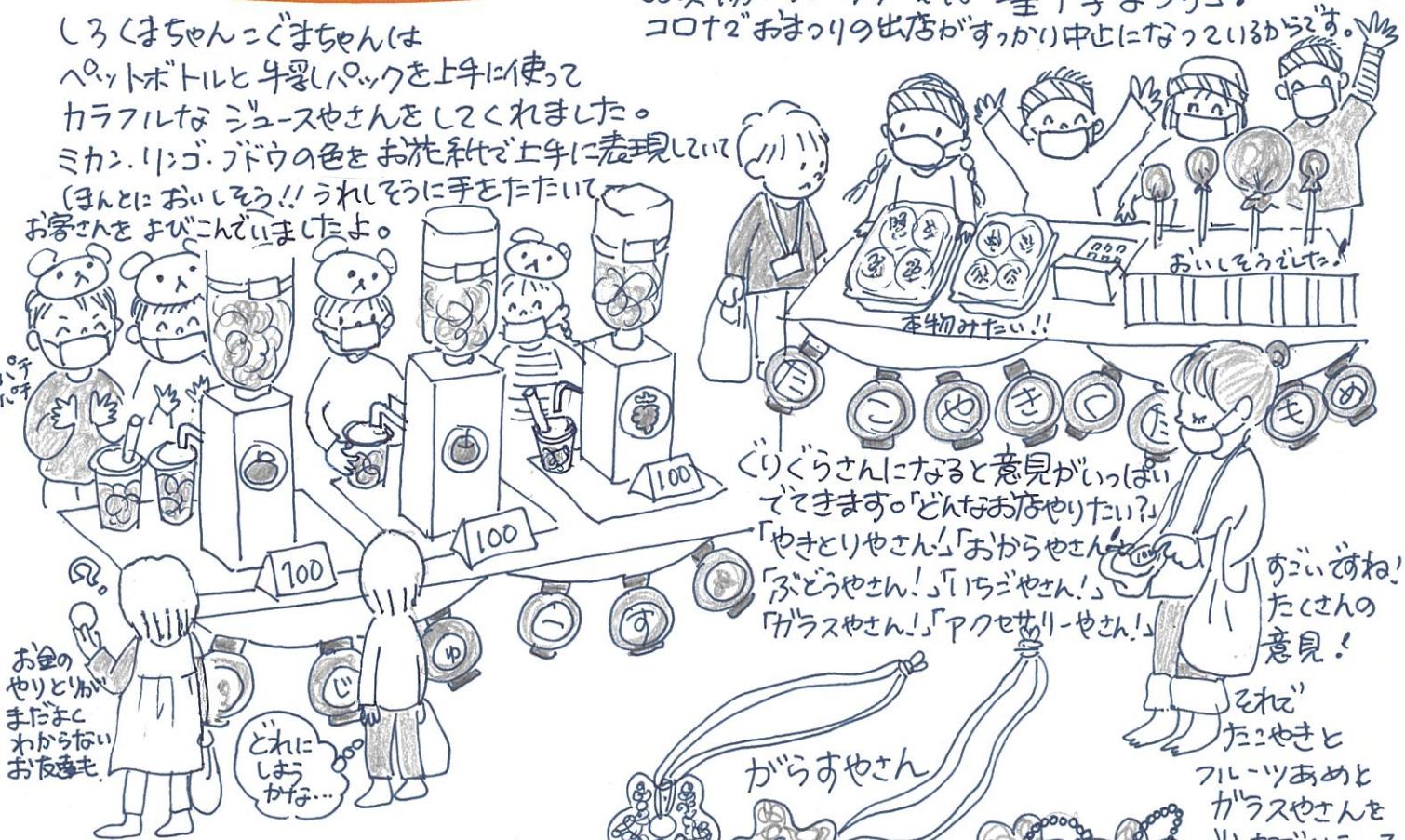
10月の誕生児の祝福礼拝において共に座っている姿は、まさに詩編133:1を表しておりました。家族のため、休んでいるお友達のためにも祈っておりました。

なんという恵み！なんという喜び！

(チャプレン 司祭いけだとおる)

にぎやかな屋台に大喜び！

しろくまこぐま(満3)とぐりぐら(年少)クラスの
お買物ごっこのテーマは「聖十字まつり」
コロナ禍おまつりの出店がすっかり中止になってしましました。



おわったあとお部屋のロフトの
パン屋さんにおひであります。
自分たちでジュースをコップに入れて
お友だちにわたして楽しもうです。

たこやきの制作で
ティッシュを丸めていると
「タコは入れないの？」
…あら、ほんとだね。ごめんなね。先生が焼いてくれました。とてもきれいでした！

がらすさんは
「マルトンビーズ」をシリコンの型に
みんなが色をうらんづめてくれたものと
よんでもらって焼けたのです。

しあわせ！真っ白なおもち

朝、玄関に入ると
幸せないへい

にほい!!

うわ～!
いい
?なんの
はい?
いはい?

合日
おせち
くじま!!

朝早くから

かよニ先生が大量の
もち米をとつもおいしく
炊いてくれます。

先生たちもこどもたち
うつとり!

ハッセイにたちから
川貝番におもちをついて
自分でまるめて、きなこ
みたらしをからめて
たっくさんたべましたよ！

年長さん
つく音は思わず

お反響からお手が湯きおるほど
力がよかったです。

10月22日(金)は収穫感謝の日でした。
毎年(ほんとうは)地域のお年寄りの方といっしょに
おもちつきをするのですが、去年と今年はお客様(ほいほせん)
ちょっとさみしい。

でも、みんなは大はりきりです。
だってみんなおもちが大好き！

川貝番におもちをついて
自分でまるめて、きなこ
みたらしをからめて
たっくさんたべましたよ！

年長さん
つく音は思わず
お反響からお手が湯きおるほど
力がよかったです。

ついに実現！年長さん登山



ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

緊急事態宣言で延期していた年長さんの登山。

札幌の円山をやめて、先生方はあちこちちょうど良い山を探して下見をかけて登って、と苦労しました。それを見つめたのが栗山公園の山です。

登ってみると草をかきわけ、がけもあり、細い坂道ありで、なかなかの山でしたが、みんなは上手に危険を回避していましたよ。

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

ついに実現！年長さん登山

聖十字幼稚園の園舎は上遠野徹(かとのとおる)氏の作品！



今月発売のブルータス「北海道の大正解」に、載っている建築家・上遠野徹氏は聖公会の信徒さんです。それで、聖十字幼稚園の設計も無償でしてくれました。

北の地にモダニズムを根付かせた偉大な建築家だということをこの雑誌で知りました。同じ特集の中に、有本前園長先生や私が通っていた札幌聖ミカエル教会も載っていますが、こちらはアントニン・レーモンド氏の設計で、ちょうど今月の「暮らしの手帖」にも特集されていました。どちらもその世界ではとても有名な建築家です。華美な装飾ではなくシンプルで確かな構造が美を生み出しています。

ちょっと、違う見方で聖十字の園舎を見直してみませんか？